

令和5年5月25日 定例記者会見

【質疑応答要旨】

- < 記者 > 一時預かりの無料クーポンについて、クーポン券の配布にかかる予算を伺いたい。また、一時預かりの利用実績とその傾向についても説明してほしい。
- < 市 > 配布に伴う予算措置はしていないが、大城児童館については人の配置が足りず、人件費のみ今回の補正予算で計上している。また利用実績については、近年増加傾向にある。新型コロナの影響を受けているところもあるが、子育て世代包括支援センターにおける過去3年の実績は、令和2年度が373件、令和3年度が794件、令和4年度が1,324件となっている。
- 大城児童館については、一時預かりを開始した昨年9月から今年3月までの実績は92件である。
- < 記者 > 大城児童館で昨年9月から一時預かりを開始した理由は何か。
- < 市 > 市民の方から、子育て世代包括支援センターが小牧市中央にあり、通うのが大変だという意見を受け、東部地域の大城児童館で開始した。
- < 記者 > 一時預かりクーポンの配布等について、市長の思いを伺いたい。
- < 市 > 子育て負担軽減については、市としては非常に強い思いを持って施策を進めている。特に産後、鬱になる方もおり、非常に負担感がある中で、少しでもそれを軽減する子育てしやすい環境、一人で悩まないよう相談体制も充実させていきたいと考えている。
- 例えば親子健康手帳は、以前は市民センターなどでも配布していたが、子育て世代包括支援センターができてから、原則そこでのみ配布するようにした。一見不便になったように見えるが、そこで保健師や保育士など専門職に相談できる。絵本図書館、アニバーサリープレゼントも含めて、センターに来ていただくことで、市が親子の状況を把握でき、悩みがあれば相談で

きるという機会を増やそうとしている。

そのような中で、一時預かりというハードルが高く感じるかもしれないが、クーポンをきっかけに一度利用してもらい、負担軽減になるとわかっていただければ、適切な支援につながる機会を増やすことができると考えている。孤立して、ひとりで悩むことがないようにしていくことが大事だと思っている。